

埼玉の 新時代へ あくなき挑戦!

わたなべ
渡辺
そういうちろう

活動報告
Vol.30

新たな一步

昨年11月19日、「渡辺そういうちろう後援会」の設立総会を開催しました。満員の会場の中、2期8年の市議としての実績をご報告し、次なるステップに挑む決意を表明しました。白岡・宮代への熱い想いと、具体的なビジョン(裏面)をお話しし、皆様から熱のこもった激励を頂きました。若い世代の市民から檄を飛ばしていただくなど、ご来場の皆様から温かい応援を受け、新たな一步を踏み出しました。

来場者の声

渡辺さんは政治に届きにくい「若い世代の声」も積極的に聞いて行動してくれます。市議に留まらず、大きな舞台で活躍してほしいです。



今まで白岡で暮らしてきて不満もあったけれど、渡辺さんの話を聞いて、白岡の将来はもっと良くなるんだと希望が持てました。



埼玉県土整備部に直接交渉。自民党県議団長の小島県議と幸手市・杉戸町の吉良県議も同席。

埼玉県土整備調査でスピードアップを要望

埼玉県 県土整備部に対して、県が進めている白岡市・宮代町の整備事業の進捗を調査しました。

1. 東北自動車道の側道の歩道整備について

東北自動車道の側道は、車の往来が激しいにもかかわらず、歩道が整備されていない箇所が多く危険です。何度も市議会等で要望しましたが、今回改めて事業のスピードアップを要請。「現在

は用地買収中」との説明でしたので、今後も安心安全な街を目指し、進捗確認と要望を続けます。



東北自動車道の側道(県道)の歩道

2. 篠津地区における春日部菖蒲線のバイパス整備について



現状は道路線形がスムーズではありませんが、バイパス道路ができれば篠津から菖蒲までが一直線となり、交通の流れが格段に良くなります。引き続き一日も早いバイパス整備を要望していきます。



県が進める広域の基盤整備は街の発展を後押しします。今後も近隣の県議や市議・町議と連携しながら、各課題に継続的に取り組み、街の活性化に尽力します。

政策 これから力を入れて取り組むもの

子育て世代に選ばれる街へ



若い世代が魅力を感じる街、そしてたくさんの子どもたちが健やかに育つ環境を創っていきます。

- 子育て世帯への経済的援助の拡大。産後ケア等の充実。
- インターナショナルカレッジ誘致や英語教育の充実。

県の力で都市整備を前へ進める

県の力を投入し、幹線道路や都市基盤の整備を前進させます。特に何十年も進んでいない駅前開発には力を入れ、



- 若い世代や企業を戦略的に呼び込む駅前開発。
- 下水処理に新技術を導入し、河川を徹底浄化。

NOと言わない医療を創る

人口あたりの医師数・ベッド数が著しく不足しているこの地域の医療を再構築し、医療環境の質を高めて、健康と命の不安をなくします。



- がん等の専門医療や訪問医療の充実、小児救急の受け皿を拡大。
- 老々介護やヤングケアラーへの社会的支援の拡大。

主な実績

提案から具体的成果につながったもの

行政・議会改革

- ・行政・議会のデジタル化やキャッシュレス化の実現。



市役所の押印廃止も実現!
IT企業出身者として、デジタル化に大きく貢献しました。

コロナ対策・医療

- ・教育現場へのタブレット機器導入、オンライン授業開始。
- ・コロナ対策について県の保健所と市の現場の連携を促す。



「県の保健所の負担軽減のため市の保健師を派遣」「自宅療養者の食料は市が配達」等、私の提言によって県と市の役割分担と協力体制が強化されました。

子育て・教育

- ・小規模保育所の増設促進など、待機児童問題に尽力。
- ・こもれびの森図書館に公募市民を含めた運営協議会を設置。

商業・地域活性化

- ・空き家・空き店舗対策の強化。
- ・若き風のメンバーとともに「マチナカマルシェ」の実施。



「白岡は街にぎわいが少ない」との声があり、
それなら自分たちで創ろうと、白岡初のマルシェを開催!



生活環境改善

- ・白岡東部地域、西地区に民間路線バスを誘致。
- ・新白岡駅等のムクドリ対策。



駅から遠い方々の交通手段を確保するため、議員仲間と民間バス会社に交渉し、試験運行をスタート!今後は路線の改善と他地域への拡大を図ります。



育児コラム



昨年9月、第一子(長女)が生まれました。まだ新米パパなので赤ちゃんをあやすのも一苦労です。これも日々勉強。子育てを通して学んだこと、支援の必要性を感じたことなどを、しっかり政策に生かしていきたいと思います。



渡辺 そういちろう PROFILE

都内IT関連会社に勤務し、WEBディレクターとして企業サイトやニュースサイトの運営に従事。その後、2011年より衆議院議員の公設秘書として政治活動に参加。2015・2019年白岡市議選で二期連続トップ当選。明治大学大学院卒(公共政策修士)。

